

## 水戸黄門漫遊マラソン開催に伴う、地域への経済波及効果の測定

〔事業責任者〕

(自治体等側) 水戸黄門漫遊マラソン実行委委員会事務局

柏 直樹

(大学側) 人文社会科学部・教授

田中 泉

### 連携先

水戸黄門漫遊マラソン実行委員会事務局

### プロジェクト参加者

柏 直樹 (水戸市市民協同部スポーツ課長・事業担当責任者)

安達 禎展 (水戸市市民協働部水戸黄門漫遊マラソン推進室長・統括)

村石 俊弘 (水戸市市民協働部水戸黄門漫遊マラソン推進室係長・企画立案)

林部 慧太 (水戸市市民協働部水戸黄門漫遊マラソン推進室係員・企画立案)

田中 泉 (人文社会科学部教授・アンケート集計、分析、経済波及効果試算)

### プロジェクトの実施概要

#### ① プロジェクトの目的

茨城県が作成した産業連関表を基に水戸市の産業連関表を作成し、水戸黄門漫遊マラソンに伴う経済波及効果を推計する。推計にあたっては、事前にマラソンを開催してその経済波及効果を推計している他の都市の視察を行い、その結果を参考にして推計の基礎データとなるアンケートを作成し、実施する。

#### ② 連携の方法及び具体的な活動計画

プロジェクト参加者が協同で他の都市のヒアリングを行い、その結果を参考にしてアンケートを作成する。水戸市の担当者はアンケート回収率向上に向けたPR活動、アンケートの実施、成果物の作成を行い、アンケートのデータと、事務局の決算資料を大学の担当者に提供する。大学の担当者はアンケート結果を集計・分析するとともに、水戸市の産業連

関表を作成し、アンケート集計結果と事務局の決算資料を基に経済波及効果を推計する。

#### ③ 期待される成果

水戸黄門漫遊マラソンの経済波及効果の推計自体に大きな意味があるが、水戸市の産業連関表を作成することにより、今後市内で開催される様々なイベントの経済波及効果のみならず、自治体の様々な政策効果等の推計が可能になるという成果が期待される。

### プロジェクトの実施成果

#### ① 活動実績

マラソンを開催しその経済波及効果をすでに推計している2都市、岡山市、姫路市においてマラソン大会事務局でヒアリングを行った。その結果をも参考にして、大会参加者にアンケートを実施し、そのデータの集計・分析を行うとともに、来年度に向けた改善点の洗い出しを行った。

産業連関表に関しては、今年度中に発表が期待された茨城県2015年産業連関表が現時点で公表されていないため、2011年の茨城県産業連関表を用いて水戸市産業連関表を作成した。

#### ② プロジェクトの達成状況

年度末に公表される事務局の決算資料とアンケート集計分析結果を用いて、簡便的な方法で作成した2011年水戸市産業連関表を基に大会の経済波及効果を年度末に試算する予定である。

### ③ 今後の計画と課題

今年度、経済波及効果の予備的な試算を行うことで、いくつかの改善すべき点が明らかになった。まず、アンケートの質問項目、質問の仕方、集計方法等の改善を計画している。次に、おそらく近日中に発表されると期待される2015年茨城県産業連関表を基に、水戸市の産業連関表を可能な限り精緻な方法を用いて作成することである。時間的な余裕があれば、水戸市を含む県央経済地区の産業連関表をも作成し、より広範囲の経済波及効果の推計にもチャレンジすることも計画している。